

令和2年度 帷子小学校 学校評価保護者アンケート集計結果

日頃より、本校の教育活動にご理解ご支援いただきありがとうございます。過日、実施いたしました本年度の学校評価保護者アンケートの集計結果がまとまりましたので、ここにご報告申し上げます。皆様からいただきました貴重なご意見をもとに更に本校の教育活動を改善・充実させていきたいと思ひます。ご多用中のところご協力ありがとうございました。

12月実施 回収数 177

No.	評価項目内容	A B C D E				
		0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%	0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%	0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%	0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%	0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%
1	子どもは、安心して楽しく学校に通っている。	A				
2	子どもは、前向きに学習に取り組んでいる。	A				
3	子どもは、遠足(宿泊)・運動会・音楽交流会などの行事を楽しみにしている。	A				
4	子どもは、進んで挨拶に取り組んでいる。	A				
5	子どもは、困ったことがあったときに、相談する人がいる。	A				
6	子どもは、友達の考えを大切にしながら、自分の考えを伝えている。	A				
7	子どもは、進んで自分の考えを表現したり、役割を引き受けたりしている。	A				
8	学校は、楽しく、分かりやすい授業をするために、授業方法・形態・内容等を工夫している。	A				
9	学校は、保健だよりや学級指導を通して、感染症などの予防に努めている。	A				
10	学校は、子どもの学習や生活の様子を適切に評価し、分かりやすく保護者に伝えている。	A				
11	学校は、教育方針や教育活動の様子を、分かりやすく家庭や地域に伝えている。(学校説明会・学校だより・学年だより・各種通知・学校ホームページなど)	A				
12	学校は、学校生活のきまりや約束事などを共通して指導し、規範意識のしっかりした学校づくりに努めている。(学校生活のきまり・長期休業の過ごし方のプリントなど)	A				
13	学校は、保護者・教職員が共通理解のもと、円滑にPTA活動を行っている。	A				
14	学校は、毎月の避難訓練や不審者対応訓練、交通安全教室などを計画的に行い、子ども・教職員共に命を守る実践的な訓練を行っている。	A				
15	学校は、子どもの一斉下校指導や校門等の施錠・解錠体制を確立し、子どもの登下校時の安全を確保している。	A				
16	学校は、メール配信システム等にて、重要情報の迅速な伝達体制を確立している。	A				

学校評価児童アンケート集計結果 12月実施

回答数 292

令和2年度

No.	質 問	A B C D E				
		0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%	0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%	0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%	0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%	0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%
1	わたしは 毎日学校へ行くのが楽しい。	A				
2	わたしは 授業が分かりやすく楽しい。	A				
3	わたしは 避難訓練や不審者対応訓練、交通安全教室などに真剣に取り組んでいる。	A				
4	わたしは 運動会・遠足(宿泊)・音楽交流会などの行事が楽しい。	A				
5	わたしは 縦割り活動などの、ほかの学年との交流が楽しい。	A				
6	わたしは 「みんなでやればできる帷子110周年」のテーマを意識して活動に取り組んでいる。	A				
7	わたしは 学校のきまりを守っている。	A				
8	わたしは 誰に対しても自分から進んであいさつをしている。	A				
9	わたしは 感染症などの予防のために、手洗いに進んで取り組んでいる。	A				
10	わたしは 仲良しの友達がいる。	A				
11	わたしは 困ったときに相談する人がいる。	A				
12	わたしは 友達の考えを大切にしながら、自分の考えを伝えている。	A				
13	わたしは 進んで自分の考えを表現したり、役割を引き受けたりしている。	A				

<保護者アンケート・児童アンケートより>

感染症対策を行いながらの厳しい状況の中でも、「1子どもは安心して楽しく学校に通っている」については、児童が学校に行くことに喜びを感じていると捉えているご家庭が多いことが分かった。また、児童アンケートにおいてもAB評価が昨年度80%→今年度87%と7ポイント上昇しており、児童が学校の楽しさを家庭で伝えることで、保護者が学校での様子を感じ取っていると思われる。保護者アンケート(自由記述)には、「家庭で子どもが、学校や友達のことを楽しそうに話している」という声も寄せられている。今後も引き続き子どもたちが安心して楽しく登校できるよう取り組んでいく。

また、手洗いの徹底や検温の実施、マスク着用の声かけ、ガイドラインに則した授業方法の工夫、給食時の感染症予防、放課後の校内の消毒作業等、学校は様々な感染症対策に取り組んでいる。保護者の協力と児童の自発的に取り組む姿が一体となり、全校をあげて取り組んできたことが「9」のよい結果に結びついたと考えられる。

自分から進んで挨拶ができていた児童が昨年度よりも増えていた。「4」AB評価 R1 80%→R2 85% 今年度、運営委員会を中心に、どうしたらこの状況の中でかわりを広げられるかについて話し合い、「知り合いが増えれば、挨拶も活発になる。」という児童の声から、クラス紹介動画や冊子作りを通して交流したことが、よい結果につながった。一方で、挨拶することに恥ずかしさを感じている児童がいることも分かった。そこで、道徳や学活の学習等で、挨拶することについて取り上げ、そのよさを実感できる取組を、今後も継続していくことが必要である。

保護者自由記述欄には「川門を施錠して欲しい。」と意見があった。「施錠しているはずの川門」が、開錠したままになっていることも見受けられる。アンケートの数値はよい評価が高いが、今後は施錠を徹底していく。また「学年だよりをもらって次の日の予定が急すぎる」と意見があった。次年度以降、学年だよりに次月の1週目までの予定を掲載していきたい。

学習活動の中で、「12 友達の考えを大切にしながら自分の考えを伝えている。」や、「13 進んで自分の考えを表現したり、役割を引き受けたりしている。」の項目では、課題を感じる児童が少なくないことが分かった。「12」CD評価16.7%、「13」CD評価17.9% 今年度本校では、「豊かな関わり合いを通して、主体的に学ぶ子の育成～自分の思いや考えを表現し、自他を認め合う～」をテーマにした研究を行っている。その取組を継続し、大きな行事だけでなく、日常の活動の中でも、大小にかかわらず役割を引き受けて、進んで自分の考えを表現したり友達の考えを認め合ったりする児童の育成を今後も継続して目指していきたい。

なお、「Eわからない」の評価も各項目であがっている。各授業において具体的に何ができるようになるのか等の目指す姿を児童自らが捉え、評価の視点を明確にすることで、「Eわからない」の評価は減少し、より自己評価ができるようになっていくのではないかと考えている。また今年度は、感染症予防の観点から授業参観の回数が少なくなり、保護者の方に授業の様子を伝えきれていない部分があった。そのような中だからこそ、学校として、より保護者の方が学校の様子や取組を理解できるよう懇談会やおたより、家庭連絡などで、丁寧に説明する必要がある。